

口腔衛生管理体制加算について → 30単位/月

- ◆ 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対する口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月1回以上行っている場合
- (1) 「口腔ケアに係る技術的助言及び指導」
当該施設における入所者の口腔内状態の評価方法、適切な口腔ケアの手技、口腔ケアに必要な物品整備の留意点、口腔ケアに伴うリスク管理、その他当該施設において日常的な口腔ケアの実施にあたり必要と思われる事項のうち、いずれかに係る技術的助言及び指導のことをいう。
- (2) 「入所者の口腔ケア・マネジメントに係る計画」作成について
以下の事項を記載すること。
 - イ 当該施設において入所者の口腔ケアを推進するための課題
 - ロ 当該施設における目標
 - ハ 具体的方策
 - ニ 留意事項
 - ホ 当該施設と歯科医療機関との連携の状況
 - ヘ 歯科医師からの指示内容の要点
(当該計画の作成にあたっての技術的助言・指導を歯科衛生士が行った場合に限る)
 - ト その他必要と思われる事項
- (3) 医療保険において歯科訪問診療料又は訪問歯科衛生指導料が算定された日の属する月であっても口腔衛生管理体制加算を算定できるが、介護職員に対する口腔ケアに係る技術的助言及び指導又は入所者の口腔ケア・マネジメントに係る計画に関する技術的助言及び指導を行うにあたっては、歯科訪問診療又は訪問歯科衛生指導の実施時間以外の時間帯に行うこと。

口腔衛生管理加算について → 110単位/月

- ◆ 歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、入所者に対し、口腔ケアを月4回以上行った場合、口腔衛生管理体制加算を算定していない場合は、算定しない
- (1) 口腔機能維持管理加算については、歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が口腔衛生管理体制加算を算定している施設の入所者に対して口腔ケアを実施した場合において、当該利用者ごとに算定するものである。
- (2) 当該施設が口腔衛生管理加算に係るサービスを提供する場合には、当該サービスを実施する同一月内において医療保険による訪問歯科衛生指導の実施の有無を入所者又はその家族等に確認するとともに、当該サービスについて説明し、その提供に関する同意を得た上で行うこと。また、入所者ごとに口腔に関する問題点、歯科医師からの指示内容の要点、口腔ケアの方法及びその他必要と思われる事項に係る記録(「口腔衛生管理に関する実施記録」)を作成し保管するとともに、その写しを当該入所者に対して提供すること。
- (3) 歯科医師の指示を受けて当該施設の入所者に対して口腔ケアを行う歯科衛生士は、口腔に関する問題点、歯科医師からの指示内容の要点、口腔ケアの方法及びその他必要と思われる事項を口腔衛生管理に関する実施記録に記入すること。また、当該歯科衛生士は、入所者の口腔の状態により医療保険における対応が必要となる場合には、適切な歯科医療サービスが提供されるよう当該歯科医師及び当該施設の介護職員等への情報提供を的確に行うこと。
- (4) 本加算は、医療保険において歯科訪問診療料が算定された日の属する月であっても算定できるが、訪問歯科衛生指導料が算定された日の属する月においては、算定できない。

施設名:

口腔衛生管理体制加算関係書類(施設体制)

【入所者の口腔ケア・マネジメントに係わる施設体制全体計画表】

記入日 年 月 日

課題Ⅰ (施設全体対象)		
課題Ⅱ (入所者対象)	I.衛生状態	
	II.口腔機能	
目 標		
具体的方策	I. 総合的課題	
	II. 口腔ケアの具体的な実施方法について	
	① 衛生面	
	② 機能面	
	III. 施設内の感染対策	
留意事項		
歯科医療機関との連携状況		
歯科医師の指示内容の要点		
その他特記事項		

